



八女市立星野小学校 学校通信 平成 29 年 5 月 22 日

星のっ子だより

(文責 吉田)

みんなで作り上げる運動会を

お茶摘み (1 番茶) が終わったと思うと、田植えの 2 番茶摘みがはじまることと思います。しばらく忙しい日々が続きますね。

学校では、休み明けで先週に引き続き運動会の練習をがんばっています。

そんな中、本日 (5 月 22 日 (月)) の 2 校時に地域の方に来ていただき全校ダンスの練習を行いました。短い練習時間でしたが、的を得た指導で子どもたちも随分と上手になりました。

歌詞に合わせて振り付けの指導をしていただいたのですが、歌詞を聞くと星野に合ったとてもよい詩だと思いました。詩は、以下のようなものです。

星野茶処

1 みどりしたたる 春風に
今年も来ました ふるさとへ
あおあおのびるお茶畑
それそろでそろた 新茶の芽
あなたにみせたい 八女の地を
ハアー ここは茶処
星野の茶それ
ここは茶処 星野村

2 朝日が 昇る 夜明け待つ
手に手にかごを 持ちながら
揺れる茶の芽はここにありそ
揉むで揉まれた器量よし
やがて旅立つ 日々を待つ
ハアー ここは茶処
星野の茶それ
ここは茶処 星野村

3 美濃連山 いただきて
うどに目の前 いきいきと
かいで育った 玉露茶はそれ
飲んで飲まれて また飲んで
やっぱり 今でも 日本一
ハアー ここは茶処
星野の茶それ
ここは茶処 星野村



運動会当日は、最後にこの星野茶処を子どもたちと一緒にとおどっていただきたいと思います。そして、星野のよさをみんなで味わいたいと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。

校歌にこめた思い

前々回の学校便りで、校歌を紹介しましたら、星野の公民館長 井上宏行様より星野小学校の校歌の作詞・作曲をされた安藤由布樹の「作詞・作曲こめた思い」という資料を届けていただきました。ありがとうございました。これを読むと安藤さんが新生星野小学校のために心を込めて校歌を作詞・作曲されたことが分かります。もうご存じの方も多いこととは思いますが、紹介します。

(字が小さくなって申し訳ありません。))



安藤 由布樹 作詞・作曲

一

歩こう 僕らの足音高く 耳納の山にこだまする
朝の光に権現山が 笑顔で僕らを迎えてくれる
明るい笑いと歌声が 学びの庭に響きあう
星のふるさと星野の里に 緑が育む豊かな希望
ああ われらの星野小学校

二

進もう 私の希望は高く 星野の夜空にこだまする
あの星空のきらめきは みんなの胸に光る夢
星野の川のせせらぎも 私の歌と響きあう
星のふるさと星野の里に 緑が育む豊かな絆
ああ われらの星野小学校

三

学ぼう みんなの高鳴る夢は 世界の空を駆けめぐる
恵みたたえる池の山 水面に映る桜の小径
大空のもとともる灯りは 心を結ぶ平和の祈り
星のふるさと星野の里に 緑が育む雄々しき翼
ああ われらの星野小学校
ああ われらの星野小学校